

別紙－９ ① 電気工作物保安仕様書

（契約対象電気工作物）

第１条 契約対象電気工作物の概要は次のとおりとします。

契約の 対象	事業場の名称	付表のとおり
	事業場の所在地	付表のとおり
	設備容量及び受電電圧	付表のとおり
	発電装置の定格容量及び 定格電圧	付表のとおり
受電種別（使用期間）		付表のとおり

（保安管理業務の内容）

第２条 乙は、この契約及び別に定める保安管理業務の細目及び基準（以下「細目及び基準」といいます。）に定めるところにより保安管理業務を実施します。

（点検頻度等）

第３条 乙が実施する保安管理業務のうち定期的に行う点検、測定及び試験の頻度等は、次の各号によるものとします。

- （１）月次点検 付表のとおり（絶縁監視装置設置の有無：付表のとおり）
- （２）年次点検 毎年１回（無停電年次点検の実施の有無：付表のとおり）

（甲又は乙の協力及び義務）

第４条 甲は、乙が保安管理業務の実施にあたり、甲に指導した事項又は甲乙協議決定した事項については、速やかに必要な措置を取り、また乙が助言した事項については、乙の意見を尊重するものとします。

２ 乙は、保安管理業務を誠実に行うものとします。

（通知義務）

第５条 甲は、次の各号に定める事項を乙に通知するものとします。

- （１）電気事故その他電気工作物に異常が発生又は発生のおそれがある場合
- （２）経済産業大臣又は中国四国産業保安監督部長が電気関係法令に基づいて検査を行う場合
- （３）低圧電路の絶縁状態を監視する装置（以下「絶縁監視装置」といいます。）の電話連絡方式を設置しているものにあつては、絶縁監視装置が警報を発した場合
- （４）電気工作物の設置又は変更の工事を計画する場合、施工する場合及び工事が完成した場合
- （５）電気工作物に接近して作業を行う場合
- （６）責任分界点又は需要設備構内（使用区域）を変更する場合
- （７）電気の保安に関する組織を変更する場合
- （８）代表者、委託者又は事業場の名称及び所在地（地名表示）に変更があった場合
- （９）相続等により契約に基づく権利義務の承継があった場合
- （１０）本契約を履行するうえで、その他必要な場合

（絶縁監視装置）

第６条 絶縁監視装置を設置又は撤去する場合は、次の各号によるものとします。

- （１）絶縁監視装置は、甲乙協議の上、乙が設置し所有するものとし、設置工事に要する費用及び保守費用は乙が負担すること
- （２）甲は、乙が絶縁監視装置を設置する場所の提供、電話回線など既存の施設の利用について便宜を供するものとし、乙の絶縁監視装置を無断で移設、取外し、改造等を行わないこと
- （３）絶縁監視装置の情報を、甲の加入電話回線を利用して自動的に乙に通報又は甲が乙に電話連絡する電話料は、甲が負担すること
- （４）甲の、電気工作物が変更等により、絶縁監視装置の設置条件に適合しなくなった場合及び絶縁監視装置の運用

- に支障があると認められた場合は、甲乙協議の上、絶縁監視装置を乙が撤去すること
- (5) 甲が、撤去を申出た時又はこの契約が消滅した場合は、絶縁監視装置を乙が撤去すること、その場合甲は、停電等に関して協力すること

(保安業務担当者の資格等)

- 第7条 乙は、第1条に掲げる電気工作物の保安管理業務を担当する者（以下「保安業務担当者」といいます。）には、電気事業法施行規則に定める要件に適合する者（以下「保安業務従事者」といいます。）をあてるものとします。
- 2 保安業務担当者は、必要に応じ他の保安業務従事者に、保安管理業務の一部を実施させることができるものとします。
- 3 保安業務担当者及び保安業務従事者（以下「保安業務担当者等」といいます。）は、必要に応じ補助者を同行し、保安管理業務の実施を補助させることができるものとします。
- 4 保安業務担当者等は、保安管理業務に従事する資格を有する証を常に携行し、甲の求めに応じ提示することとします。
- 5 乙は、前各項で定める保安業務担当者等を、乙の事業所への連絡方法とともに、書面をもって甲に通知するものとし、甲は面接等により本人の確認を行うこととします。又、変更の場合も同様とします。

(記録の保存)

- 第8条 乙が実施し報告した保安管理業務の結果の記録等は、甲の確認後、甲乙双方において3年間保存するものとします。
- ただし、3年を超える周期で行う点検の記録等にあつては、次回の点検が終了するまで保存するものとします。

保安管理業務の細目及び基準

1. 保安管理業務の内容

- (1) 乙が受託して実施する保安管理業務は次によるものとします。

① 定例の保安管理業務は次によるものとします。

- a. 定期的な点検、測定及び試験（具体的基準は、別表第1「点検、測定及び試験の基準」によります。）を行い、経済産業省令で定める技術基準（以下「技術基準」といいます。）の規定に適合しない事項又は適合しないおそれがあるときは、とるべき措置について甲に報告するものとします。
- b. 電気事故その他電気工作物に異常が発生し又は発生するおそれがある場合において、原因の究明に協力し、応急措置を指導するとともに、必要により臨時点検を実施し、再発防止につぎとるべき措置を報告するものとします。
- c. 電気事業法第107条第3項に規定する立入検査の立ち会いを行うものとします。

② 定例以外の保安管理業務は次によるものとし、甲の要求に基づき必要の都度行います。

- a. 電気工作物の工事、維持及び運用に関する経済産業大臣又は中国四国産業保安監督部長への報告、届出書類及び図面等について、その作成及び手続きの助言を行うものとします。
- b. 電気工作物の設置又は変更の工事について、設計の審査及び竣工検査を行い、必要に応じそのとるべき措置について甲に報告するものとします。
- c. 電気工作物の設置又は変更の工事について、甲の通知を受けて工事期間中の点検を毎週1回行い、必要に応じそのとるべき措置について甲に報告するものとします。

ただし、内燃力発電所、ガスタービン発電所、太陽電池発電所及び風力発電所については、経済産業省告示第249号第4条の規定により点検は行わないものとします。

- (2) 次の①～④のいずれかに該当する電気工作物については、甲は点検、測定及び試験の全部又は一部を、電気工事業者、電気機器製造業者等に依頼して行うものとします。これに関し、甲の求めに応じ乙は助言を行うこととします。

① 設備の特殊性のため、専門の知識及び技術を有する者でなければ点検を行うことが困難な自家用電気工作物

（例えば、次のaからfまでのいずれかに該当する自家用電気工作物）

- a. 建築基準法（昭和25年法律第201号）第12条第3項の規定に基づき、一級建築士等の検査を要する建築設備
- b. 消防法（昭和23年法律第186号）第17条の3の3の規定に基づき、消防設備士免状の交付を受けている者等の点検を要する消防用設備等又は特殊消防用設備等
- c. 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第45条第2項の規定に基づき、検査業者等の検査を要することとなる機械
- d. 機器の精度等の観点から専門の知識及び技術を有する者による調整を要する機器（医療用機器、オートメーション化された工作機械群等）
- e. 内部点検のための分解、組立に特殊な技術を要する機器（密閉型防爆構造機器等）
- f. 壁の中、密閉された天井裏、固定ボルトで固定された機器の内部等の隠ぺい場所に設置された配線及び機器等

- ② 設置場所の特殊性のため、乙が点検を行うことが困難な自家用電気工作物（例えば、次の a から f までのいずれかの場所に設置される自家用電気工作物）
- a. 高所にある配線、機器等及び稼働中の機器又はその付近の配線、機器等で点検を行うことが危険を伴う場合（広告塔、照明塔、回転機器等）
 - b. 立入に危険を伴う場所（酸素欠乏危険場所、有毒ガス発生場所、高所での危険作業を伴う場所、放射線管理区域等）
 - c. 情報管理のため立入が制限される場所（機密文書保管室、研究室、金庫室、電算室等）
 - d. 衛生管理のため立入が制限される場所（手術室、無菌室、新生児室、クリーンルーム等）
 - e. 機密管理のため立入が制限される場所（独居房等）
 - f. 立入に専門家による特殊な作業を要する場所（密閉場所等）
- ③ 事業場外で使用されている可搬型機器である自家用電気工作物
- ④ 発電設備のうち電気設備以外である自家用電気工作物

(3) 乙は、上記 (1) 及び (2) の点検の他、甲の日常巡視等において異常等がなかったか否かの問診を行い、異常があった場合には、保安業務担当者等の観点から点検を行うものとします。

2. 絶縁監視装置の警報発生時の処置

(1) 乙は、電気工作物に設置した絶縁監視装置から次の警報を直接又は甲を通じて受けた場合、警報の発生の原因を調査し、再発防止につきとるべき措置を行うものとします。

- a. 警報動作電流50ミリアンペア以上の漏えい電流が発生している旨の警報（以下「漏えい警報」といいます。）を連続して5分以上受信した場合
- b. 5分未満の漏えい警報を繰り返し受信した場合

(2) 乙は、警報発生時の受信の記録を3年間保存するものとします。

点検、測定及び試験の基準

設 備		点 検 項 目	点 検 の 種 別			工事期間中の点検 臨 時 点 検
			定 期 点 検			
			月次点検	年次点検		
			停 電	無停電		
引 込 設	区分開閉器	外観点検	○	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		○	※1○	
		継電器の動作試験		○	※2○	
		継電器の動作特性試験		※3○	※3○	
		開閉器と継電器の連動試験		※3○	※3○	
	引込線、支持物、ケーブル等	外観点検	○	○	○	
絶縁抵抗測定			○	※1○		
受	断路器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	※1○	
電力用ヒューズ	外観点検	○	○	○		
	絶縁抵抗測定		○	※1○		
電 設	遮断器、負荷開閉器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	※1○	
		内部点検		1回／6年		
		絶縁油酸価測定		上記結果により		
		〃 耐圧試験		必要の都度		
		継電器の動作特性試験		※3○	※3○	
		遮断器、開閉器と 継電器 の連動試験		※3○	※3○	
		変圧器	外観点検	○	○	
	絶縁抵抗測定			○	※1○	
	漏えい電流測定		○			
	内部点検			1回／6年		
	絶縁油酸価測定			上記結果により		
	〃 耐圧試験			必要の都度		
	コンデンサ、リアクトル	外観点検	○	○	○	
絶縁抵抗測定			○	※1○		
計器用変成器、零相変流器	外観点検	○	○	○		
	絶縁抵抗測定		○	※1○		
避雷器	外観点検	○	○	○		
	絶縁抵抗測定		○	※1○		
母線等	外観点検	○	○	○		
	絶縁抵抗測定		○	※1○		
その他の高圧機器	外観点検	○	○	○		
	絶縁抵抗測定		○	※1○		
受 ・ 配 電 盤	配電盤、制御回路	外観点検	○	○	○	
		電圧、電流測定	○			
		絶縁抵抗測定		○	※1○	
		計器校正試験		必要の都度		
	絶縁監視装置	外観点検	○	○	○	
		許容誤差試験(伝送試験を含		○	○	
接地 工事	接地線、保護管等	外観点検	○	○	○	
		接地抵抗測定		※4○	※4○	
構 造 物	受電室建屋、キュービクル式 受・変電設備の金属製外箱等 (発電設備含む)	外観点検	○	○	○	

必要の都度

設 備		点 検 項 目	点 検 の 種 別			工事期間中の点検 臨 時 点 検
			定 期 点 検			
			月次点検	年次点検		
	停 電	無停電				
配電設備	電線路	外観点検	○	○	○	必要の都度
		絶縁抵抗測定		※5○		
負 荷	低圧機器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		※5○		
設 備	低圧配線、制御配線	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		※5○		
	開閉器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		※5○		
	遮断器	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		※5○		
非常用予備発電装置	原動機、始動装置及び付属装置	外観点検	○	○	○	
		始動・停止試験	○	○	○	
	発電機	外観点検	○	○	○	
		発電電圧、周波数（回転数）の測定	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		※5○		
		外観点検	○	○	○	
	遮断器、開閉器、配電盤、制御装置等	絶縁抵抗測定		※5○		
		内部点検		1回／6年		
		絶縁油酸価測定		上記結果により		
		〃 耐圧試験		必要の都度		
		継電器の動作特性試験		※3,6○		
蓄電池設備	蓄電池 （原動機始動用を含み、開放した場所にあるものに限る。）	外観点検	○	○	○	
		電圧測定		○	○	
		比重測定		○	○	
		液温測定		○	○	
	充電装置及び付属装置	外観点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定		※5○		
発 電	原動機、風車及び付属装置	外観点検	○	○		
		始動・停止試験		○		
	始動装置（蓄電池、充電装置等）	外観点検	○	○		
		絶縁抵抗測定		○		
		電圧測定		○		
		比重測定		○		
		液温測定		○		
電 池 設 備	太陽電池、発電機、 燃料電池	外観点検	○	○		
		発電電圧、周波数（回転数）の測定	○			
		絶縁抵抗測定		※7○		
	遮断器、開閉器、変圧器等	外観点検	○	○		
		絶縁抵抗測定		○		
		漏えい電流測定	○			
		内部点検		1回／6年		
		絶縁油酸価測定		上記結果により		
		〃 耐圧試験		必要の都度		
備	直交変換装置、配電盤、制御装置等	外観点検	○	○		
		絶縁抵抗測定		※7○		
		電圧、電流測定	○			
		継電器の動作特性試験		※3,6,8○		
		計器校正試験		必要の都度		

注1. ○印は、各点検項目の該当項目を示し、設備のある場合に適用します。

2. 月次点検は、設備ごとに外観点検を行うものとします。

外観点検とは、設備が運転中の状態において目視（必要に応じ携帯計器の使用を含む。）により次の点検項目を行います。

- a. 電気工作物の異音、異臭、損傷、汚損等の有無
- b. 電線と他物との離隔距離の適否
- c. 機械器具、配線の取付け状態及び過熱の有無
- d. 接地線等の保安装置の取付け状態

3. 年次点検は、主として停電により設備を停止状態にして年1回点検を行うものとします。ただし、信頼性が高く、かつ、各点検項目と同等と認められる点検が1年に1回以上行われる機器については、3年に2回以内の範囲において停電をしない状態で年次点検（無停電年次点検）を行います。

4. 工事期間中の点検は、外観点検を行います。臨時点検は、必要に応じ外観点検及び年次点検に準じて行います。

5. 絶縁油の酸価測定及び耐圧試験は、過熱・変色、汚損等の異常がない場合、又はP C B油混入のおそれがある場合、全部又は一部を省略することがあります。

6. 変圧器の二次側より配電盤の主開閉器電源側の絶縁抵抗測定は、漏えい電流測定に替えることがあります。

7. 変圧器、電力用コンデンサー、計器用変成器、リアクトル、放電コイル、電圧調整器、整流器、開閉器、遮断器、中性点抵抗器、避雷器及びO F ケーブルにおいて「ポリ塩化ビフェニルを含有する絶縁油を使用する電気工作物等の使用及び廃止の状況の把握並びに適正な管理に関する標準実施要領（内規）」に掲げる高濃度ポリ塩化ビフェニル含有電気工作物に該当しているかの確認を年次点検時に行います。ただし、これまでに記録等で確認してる機器については、その内容をもって確認したものとします。

8. ※を付した項目は、次のとおりとします

※1 部分放電測定及び温度測定に替えることがあります。

※2 継電器の単体試験（押し釦テスト）及び制御回路試験とします。

※3 3年に2回以内の範囲で、過去の試験・測定結果、経年的評価及び月次点検時の点検結果等により正常であることを確認し試験に替えることがあります。

※4 過去の実績により、その全部又は一部を省略することがあります。

※5 絶縁監視装置の動作状況、過去の測定実績等を検討し、絶縁状態が良好と判断される場合は、測定周期を延長することがあります。

※6 発電機筐体に組み込まれた継電器の動作特性試験は、その全部又は一部を省略することがあります。

※7 開閉器の施設状況又は製造者との協議により、その全部又は一部を省略することがあります。

※8 発電設備に設置する系統連系保護装置については、単独運転検出機能の動作確認に替えることがあります。



1(雨水9)土壌雨水ポンプ場



2(雨水10)王子川排水ポンプ場



3(雨水5)東浜雨水ポンプ場



4(雨水6)江の口雨水ポンプ場



5(雨水4)宇高第一雨水ポンプ場



6(雨水7)松神子雨水ポンプ場



9(雨水11)中央雨水ポンプ場



10(雨水3)恒生雨水ポンプ場



11(排水1)多喜浜排水ポンプ場



12(排水2)多喜浜新田排水ポンプ場

排水ポンプ場(一般下水)リスト

ポンプ場名	住宅地帯	設置ポンプ数	排水水量
1 多喜浜排水	多喜浜2-16-7 (P18-C-3)	φ900mm 1台 ディーゼル φ700mm 1台 電動機 Σ Q = 158m ³ /min = 2,460m ³ /hr	
2 多喜浜新田排水	多喜浜3-4-47 (P18-B-5)	φ500mm 1台 ディーゼル φ800mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 120m ³ /min = 1,800m ³ /hr	
3 白浜排水	多喜浜4-4-52 (P31-B-2)	φ250mm 1台 電動機 φ600mm 1台 ディーゼル φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 96.4m ³ /min = 5,810.40m ³ /hr	
4 黒島排水	黒島1-2-9 (P45-J-2)	φ500mm 2台 水中ポンプ φ350mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 140.3m ³ /min = 8,418m ³ /hr	
5 豊岡排水	豊岡町2-5 (P45-J-5)	φ700mm 2台 ディーゼル φ350mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 140.3m ³ /min = 8,418m ³ /hr	
6M 磯崎排水	磯崎町多喜浜 (P65-E-4)	φ150mm 1台 水中ポンプ φ300mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 45.5m ³ /min = 2,730m ³ /hr	
7M 江の口の排水	松神子4-2-32 (P17-E-5)	φ500mm 1台 水中ポンプ φ400mm 1台 電動機 Σ Q = 2,400m ³ /hr	
8M 恒生北排水	恒生6-6-31 (P1-E-4)	φ600mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 40m ³ /min = 2,400m ³ /hr	
9M 新白浜排水	多喜浜4-5-34 (P31-E-5)	φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 40m ³ /min = 2,400m ³ /hr	
10M 南白浜排水	多喜浜4-6-15 (P31-E-3)	φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 31m ³ /min = 1,860m ³ /hr	
11M 新須賀排水	新須賀町4-15-34 (P35-D-1)	φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 13.8m ³ /min = 828m ³ /hr	
12M 切坂排水	阿蘇2-17-3 (P35-D-1)	φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 40m ³ /min = 2,400m ³ /hr	
13M 新磯崎排水	磯崎町11-25 (P72-H-4)	φ200mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 5.75m ³ /min = 345m ³ /hr	
14M 大島排水	大島192番 (P4-D-1)	φ200mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 13m ³ /min = 780m ³ /hr	
15M 中須賀排水	中須賀町1-6 (P47-D-4)	φ200mm 1台 水中ポンプ φ250mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 17m ³ /min = 1,020m ³ /hr	
16M 宮内排水	宮内町5-81 (P56-G-5)	φ500mm 1台 水中ポンプ φ200mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 45.2m ³ /min = 2,712m ³ /hr	
17M 久保田排水	宮内町2-6-20 (P67-G-3)	φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 30m ³ /min = 1,800m ³ /hr	
18M 露神排水	露神町1-21 (P39-C-5)	φ250mm 3台 水中ポンプ Σ Q = 21m ³ /min = 1,260m ³ /hr	
19M 南小松原排水	南小松原9番 (P35-H-1)	φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 30m ³ /min = 1,800m ³ /hr	
20M 国領排水	松木4884-1 (P118-I-3)	φ250mm 2台 水中ポンプ Σ Q = 13.5m ³ /min = 828m ³ /hr	

雨水ポンプ場(公共下水)リスト

ポンプ場名	住宅地帯	設置ポンプ数	排水水量
1 港町雨水	港町16番26号 (P34-B-2)	φ350mm 4台 水中ポンプ Σ Q = 64.0m ³ /min = 3,840m ³ /hr	
2 西原雨水	西原町3-5-3 (P55-G-2)	φ1,000mm 2台 ディーゼル φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 280m ³ /min = 16,800m ³ /hr	
3 恒生雨水	恒生3-5-6 (P17-B-2)	φ1,200mm 1台 ディーゼル φ700mm 1台 ディーゼル Σ Q = 266.6m ³ /min = 15,996m ³ /hr	
4 竹高第一雨水	竹高町4-13-22 (P10-I-3)	φ1,000mm 2台 ディーゼル Σ Q = 265m ³ /min = 15,900m ³ /hr	
5 東浜雨水	阿蘇1-12-23 (P19-B-5)	φ800mm 2台 水中ポンプ Σ Q = 380m ³ /min = 10,800m ³ /hr	
6 江の口雨水	恒生3-2-7 (P17-C-4)	φ1,200mm 5台 ディーゼル Σ Q = 1,080m ³ /min = 64,800m ³ /hr	
7 松神子雨水	長野町1-27 (P18-A-4)	φ800mm 1台 電動機 φ1,000mm 2台 ディーゼル Σ Q = 390m ³ /min = 23,400m ³ /hr	
8 沢津雨水	沢津町12-13 (P13-E-2)	φ1,000mm 3台 ディーゼル Σ Q = 530m ³ /min = 31,800m ³ /hr	
9 土橋雨水	新田町1-4-31 (P55-I-4)	φ1,200mm 2台 ディーゼル φ500mm 1台 電動機 Σ Q = 490m ³ /min = 29,400m ³ /hr	
10 王子川排水	新田町1-4-28 (P55-I-4)	φ1,200mm 2台 ディーゼル φ500mm 1台 水中ポンプ Σ Q = 400m ³ /min = 24,000m ³ /hr	
11 中央雨水	西原町2-7-66 (P46-I-2)	φ1,200mm 3台 ディーゼル Σ Q = 585m ³ /min = 35,100m ³ /hr	
12 南本雨水	南本町2-15-1 (P7-I-2)	φ600mm 1台 電動機 φ1,000mm 3台 ディーゼル Σ Q = 479m ³ /min = 28,740m ³ /hr	
21M 磯崎排水	磯崎町16-7 (P72-E-5)	φ350mm 2台 水中ポンプ Σ Q = 30m ³ /min = 1,800m ³ /hr	
22M 東田排水	東田2-1773-10 (P106-B-3)	φ200mm 2台 水中ポンプ Σ Q = 10m ³ /min = 600m ³ /hr	
23M 松神子第2排水	松神子1-1-14 (P39-C-1)地先	φ300mm 3台 水中ポンプ Σ Q = 35.1m ³ /min = 2,106m ³ /hr	
24M 大島第2排水	大島235番 地先 (P4-D-1)	φ300mm 2台 水中ポンプ Σ Q = 19.2m ³ /min = 1,152m ³ /hr	
25M 一宮排水	宮町2-4-8 (P67-G-2)	φ350mm 2台 水中ポンプ Σ Q = 32.6m ³ /min = 1,956m ³ /hr	

自家用電気工作物
保安管理業務 対象箇所

付表

一括契約事業場別明細書

委託者名

新居浜市

No.	契約番号	事業場名	事業場の所在地	受電種別	使用 (併用)期間	再 使用 前 点 検 月	点 検 回 数	絶 監 装 置 の 設 置	無 停 電 年 次 点 検	設備容量		予備発電		発電所		保 安 管 理 (定例) 業 務 委 託 手 数 料 (円)	非 常 用 予 備 発 装 置 委 託 手 数 料 (円)	其 他 手 数 料 (円)	割 増 額 (円)	割 引 額 (円)	月 額 委 託 手 数 料 (円)	12ヶ月分 委 託 手 数 料 (円)	12ヵ月分 一 括 前 払 割 引 (円)	割 引 後 12ヵ月分 委 託 手 数 料 (円)	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 (円)	支 払 回 数	年 間 委 託 料 (円)	
										常時(上段) 季節(下段)	容量	容量	容量															
														kVA	kV													kVA
1	AN65000159	土場雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市新田町1丁目4番31号	常時			1/1			500 —	6.6 —	375	0.415	—	—													
2	AN65000160	多喜浜排水ポンプ場	愛媛県新居浜市多喜浜2丁目16番7号	常時			1/1			105 —	6.6 —	35	0.2	—	—													
3	AN65000434	王子川排水ポンプ場	愛媛県新居浜市新田町1丁目4番28号	常時			1/1			100 —	6.6 —	75	0.2	—	—													
4	AN65000441	多喜浜新田排水ポンプ場	愛媛県新居浜市多喜浜3丁目4番67号	常時			1/1			160 —	6.6 —	25	0.2	—	—													
5	AN65000442	白浜排水ポンプ場	愛媛県新居浜市多喜浜4丁目4番52号	常時			1/1			60 —	6.6 —	25	0.2	—	—													
6	AN65000468	黒島排水ポンプ場	愛媛県新居浜市黒島2丁目1番29号	常時			1/1			100 —	6.6 —	—	—	—	—													
7	AN65000470	東浜雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市阿島1丁目12番23号	常時			1/1			300 —	6.6 —	—	—	—	—													
8	AN65000534	江の口雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市垣生3丁目2番7号	常時			1/1			500 —	6.6 —	500	6.6	—	—													
9	AN65000551	宇高第一雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市宇高町4丁目13番22号	常時			1/1			24 —	0.2 —	40	0.2	—	—													
10	AN65000599	松神子雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市長岩町4番27号	常時			1/1			279.36 —	6.6 —	150	0.2	—	—													
11	AN65000755	沢津雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市清水町12番13号	常時			1/1			300 —	6.6 —	250	0.2	—	—													
12	AN65006002	港町雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市港町16番26号	常時			1/1			500 —	6.6 —	—	—	—	—													
13	AN65010131	中央雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市西原町2丁目7番66号	常時			1/1			750 —	6.6 —	625	0.415	—	—													
14	AN65010488	垣生雨水ポンプ場	愛媛県新居浜市垣生3丁目5番6号	常時			1/1			32 —	0.2 —	30	0.2	—	—													
合計	計 14 件	委託契約書に記載																										

注) 1. 点検回数欄においては、「1/1」は毎月1回点検、「1/2」は隔月1回点検、「1/3」は3ヵ月に1回点検をします。
2. 受電種別「季節」「季節常時併用」の場合は、手数料欄上段に季節使用月の手数料、下段に季節不使用月の手数料を記載しています。
3. 受電種別「季節」「季節常時併用」「農事用」の不使用期間は、区分開閉器を開放するものとし、月次点検は行わないものとします。
なお、不使用期間が7ヵ月以上にわたり再使用する場合は、乙は使用開始前に再使用前点検(臨時点検:月次点検及び年次点検を含む)を行い、甲は再使用前点検手数料15,000円を支払う(「農事用」除く)ものとします。
4. 発電所設備の点検回数は毎月1回(aの場合は毎月2回、bの場合は3ヶ月に1回、cの場合は6ヶ月に1回)、太陽電池発電所は毎年2回、風力発電所は毎月1回、燃料電池発電所は毎月1回とします。
なお、小出力発電設備においては毎年2回とします。